

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立森田養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	身体を使おう（モップ掛け）		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・両手を使い、まっすぐにモップ掛けをする。 ・決められた回数、廊下を往復する。 ・終わった時に報告する。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・両手を使う経験が少ないため、片手でできることは片手で対応するので、丁寧に物を扱うことが難しい。 ・一桁の数字は概ね読めるが、数順や量に関する概念は未獲得であるため、視覚的に始まりと終わりを示す必要がある。 		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 スマートフォン（iPhone）		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 絵カードカウンター	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログでマグネットを使った回数をカウントをしていたが、マグネットの配置などに執着して、活動の停滞が見られてしまった。タッチするだけで視覚的に数量の動きが見える物がよいと感じ、導入した。 		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 (支援) <ul style="list-style-type: none"> ・何をする活動なのかについて、絵カードカウンターで提示する。 ・回数を絵カードカウンターで提示し、一緒にカウントボタンの数字を読むことで確認する。 (活用状況) <ul style="list-style-type: none"> ・1往復ごとにカウントボタンを押し、回数が変わっていく様子を視覚的に確認する。 ・すべてのカウントボタンをタッチし、指定された回数のモップ掛けが終わったことを確認。「終わりました」と報告する。 			